

ジャーナリズム公開講座

第6期第14回 3月28日(木) 18:30

やま さき たけし

山崎 毅

食の安全と安心を科学する会理事長



「食の安全・安心」はリスクの 大小を比較することから

【講師略歴】1960年広島県生まれ。東京大学農学部卒。獣医学博士、リスク学者。1985年、湧永製薬入社。米国ロマリンダ大学医学部客員研究員を経て、94年からWakunaga of America社でサプリメントの研究開発と学術業務に従事。2011年NPO法人食の安全と安心を科学する会(SFSS)を創立、理事長に就任。社会活動として食生活ジャーナリストの会(JFJ)事務局長、NPO法人ファクトチェック・イニシアティブ(FIJ)理事。専門分野は食のリスクコミュニケーション、機能性食品。

会場 B-nest (ビネスト、ペガサート6階)

静岡市葵区御幸町3-21 セノバ前、江川町交差点前

駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

18:30~20:30 (18:15開場)

入場無料、申込み順先着80名 どなたでも参加いただけます。

第6期（2018年度）静岡県立大学ジャーナリズム公開講座

- 第1回 4月26日 常岡浩介 ジャーナリスト「国際報道とロシアの宣伝工作」
- 第2回 5月31日 高英起 デイリーNK ジャパン編集長
「米朝首脳会談に向けた金正恩師の本音」
- 第3回 6月28日 澤康臣 共同通信記者「世界の極秘情報を暴いた国際調査報道記者連合」
- 第4回 7月19日 西本幸恒 文藝春秋編集者「ノンフィクションと調査報道の現場」
- 第5回 8月2日 菱川暁夫 元陸上自衛隊テストパイロット
「消防防災ヘリコプター 指揮と運用そして救助される立場から」
- 第6回 8月30日 米山伸郎 日販グローバル代表取締役
「知的産業立国イスラエル—イスラエルから何を学ぶべきか」
- 第7回 9月27日 加藤晴之 書籍編集者、元『週刊現代』編集長「ベストセラーを作る編集」
- 第8回 10月25日 小泉悠 未来工学研究所研究員「復活したロシアの軍事力と日本」
- 第9回 11月15日 小川和久 軍事アナリスト、静岡県立大学特任教授
「平和の実現と軍事報道 トランプ時代の国際情勢と日本の安全保障」
- 第10回 11月29日 楊井人文 弁護士、日本報道検証機構代表理事
「ファクトチェックと従来型報道は何が違うのか？—様々な誤解を正す」
- 第11回 12月20日 川村二郎 元『週刊朝日』編集長「朝日新聞と日本語」
- 第12回 1月31日 立岩陽一郎「ニュースのタネ」編集長、元NHK記者
「踊らされる日本の米朝報道 ～関係者、関係筋情報に依拠した報道のまやかし～」
- 第13回 2月28日 軽部謙介 時事通信解説委員
「アベノミクスと報道 =経済政策取材の現状と課題=」
- 第14回 3月28日 山崎毅 食の安全と安心を科学する会理事長
「『食の安全・安心』 はリスクの大小を比較することから」

(敬称略)

第7期（2019年度）も新講師陣で開催します。ご期待ください。

静岡県立大学ジャーナリズム公開講座 受講申込書			
氏名	フリガナ		
	様		
住所	〒		
電話番号		職業	
E-mail / FAX		年齢	歳

お申込先はFAX:054-245-5603またはnishi@u-shizuoka-ken.ac.jp
電話:054-245-5600 前日までにお申込みできない場合、当日に受付で申込書にご記入ください。